

「院内トリアージ」の実施について

当院の救急外来は、患者さんの緊急度を判断し、治療の優先順位の調整など、厚生労働大臣が定める「院内トリアージ」を行う医療機関として届出を行っております。

救急室に受診される患者さんにおかれましては、事前に問診を受けるシステムとなっております。また、緊急性の高い患者さんを優先的に診察いたしますので、必ずしも順番が受付通りとはなりませんので予めご了承下さい。なお、午後6時から午前8時までの間、並びに休日に救急外来を受診される初診患者さんにおかれましては、院内トリアージ実施料（窓口負担3割の方で900円）が発生しますので予めご了承ください。

2018年4月1日

院長

院内トリアージ実施基準

院内トリアージとは、救急外来に来院した患者に対して、看護師がフィジカルアセスメントや批判的思考法（臨床推論）を用いて、病気やケガの緊急度を判定し、治療などの優先順位を決めることである。

実施にあたり、下記の通り実施基準を定める。

【院内トリアージの実施対象】

すべての救急患者（ただし、予約・処置を除く）

【院内トリアージ実施者】

救急室トリアージナース

【院内トリアージ実施料算定対象】

平日 17 時～翌 8 時および休日に救急室を受診された患者（救急車などでの搬送は除く）にトリアージを実施し、その際 2 名以上診療待ち患者がいる場合のみ算定対象とする。

【手順】

- 1) 患者来院時、速やかに救急部患者問診票・トリアージ票に基づいて、患者を直接、問診及び観察を行い、症状の同定、必要なバイタルサインズの測定を行い、緊急度を判定し、トリアージレベル（表 1）と診察場所（初療室、総合診療部、処置室、陰圧室、各科外来）を決定する。
- 2) 問診票未記入の場合は、患者自身が記載する事ができないと判断しトリアージを優先して実施する。
- 3) 迅速評価（3～5 秒）で異常を認めた場合はトリアージを終了し、判断根拠を「迅速評価」とする。（迅速評価とは、気道、呼吸、循環、意識レベル、全身観察の順で大まかな観察評価である）医師の診療を速やかに調整すると共に、状況に応じた対応を行い医師へ報告する。
- 4) トリアージ票に記載した内容を電子カルテのトリアージ患者一覧に入力する。
- 5) トリアージ患者一覧を参照し、再評価時間および診療開始時間までに再度患者観察（2nd contact）を行う。

＜表 1：トリアージレベル一覧＞

緊急度レベル	再評価までの時間の目安
JTAS レベル 1－蘇生	ケアの継続
JTAS レベル 2－緊急	15 分毎
JTAS レベル 3－準緊急	30 分毎
JTAS レベル 4－低緊急	60 分毎
JTAS レベル 5－非緊急	120 分毎

- 6) 急搬送患者の場合は、来院後ただちに診療エリアへ移動する為、レベル 1 or 2 とし、判断根拠を「救急搬送」とする。診療待ち時間が発生する場合は、バイタルサイン測定と共に救急隊情報を再度確認し、トリアージレベルを決定する。(トリアージ算定対象外となる)

【トリアージレベル詳細】JTAS ガイドラインに準拠する。

JTAS レベル 1－蘇生

生命または四肢を失う恐れ（または差し迫った悪化の危険）があり、積極的な治療が直ちに必要な状態。

- ・心停止あるいは心停止に近い状態
- ・重度の呼吸障害：SpO₂ < 90、チアノーゼ、上気道閉塞、傾眠または不穏、補助換気が必要な状態
- ・循環動態：ショック（臓器の重篤な低灌流を認めるもの）HR < 40 150 <、BP < 60、大量活動性外出血
- ・重症外傷（GCS < 10 の頭部外傷、全身熱傷、気道熱傷）
- ・高度な意識障害：GCS 3～8。中毒、薬物加療服薬、中枢神経障害、代謝性疾患、けいれん重積など

JTAS レベル 2－緊急

潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがある為、医師による迅速な治療介入が必要な状態。

- ・中等度の呼吸障害：SpO₂ < 92、文節単位の会話、増悪する吸気性喘鳴（stridor）
- ・循環動態：不安定、HR < 150 60 <、顔面蒼白、末梢皮膚冷感・湿潤
- ・中等度の意識障害（GCS 9 ～ 13）
- ・高エネルギー外傷
- ・突然発症の強い頭痛、発症早期の脳血管障害
- ・急性疼痛：NRS 8-10/10
- ・敗血症が疑われる発熱：感染症+qSOFA 2 点以上（意識変容、R ≥ 22，sBP ≤ 100）
- ・アナフィラキシー など

JTAS レベル 3－準緊急

重篤化し救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態。強い不伏症状が伴い、仕事や日常生活に支障がある状態。

- ・軽度の呼吸障害：SpO₂: 92 ～ 94、労作時息切れ、stridor はあっても明らかな上気閉塞を認めない
- ・循環動態：症状のある不整脈、普段の値と異なる場合。 など

JTAS レベル 4－低緊急

患者の年齢に関連した症状、苦情とを感じる、潜在的に悪化を生じる可能性のある症状で 1 ～ 2 時間以内の治療開始や再評価が望ましい状態。

JTAS レベル 5－非緊急

急性期の症状だが緊急性のないもの、および増悪の有無にかかわらず慢性期症状の一部である場合。

- ・軽度外傷（打撲傷、擦過傷、縫合不要な裂創） など

以 上